

4. 自動飛行場実況気象通報式 (METAR AUTO)

通報型式：

METAR CCCC YYGGgg**Z** **NIL** **AUTO** dddffGf_mf_m**KT** d_nd_nd_nVd_xd_xd_x
VVVV { **RD_RRD_R/VR_RVR_RVR_Ri** } { N_sN_sN_sh_sh_sh_s/// }
 { **w'w'** } 又は { **NCD** }
 RD_RRD_R/VR_RVR_RVR_RVR_RVR_RVR_RVR_RVR_Ri }
T'T'/T_dT_d **QPHPHPHPH** **RMK** **AP_HP_HP_HP_H** **RIRRR** **SDSSS/S_dS_dS_d**

注：

- (1) 識別語 **NIL** は、欠測報に対して適宜使用する。

規則：

1

通則

1.1

METAR は個々の本文の文頭に置き、これに続いて観測所の国際4文字地点略号以下を報ずる。
YYGGggZ 群は観測日時を表し、個々の **METAR AUTO** 報に含める。

1.2

一通以上の **METAR AUTO** 報を含む編集報の場合は、個々の **METAR AUTO** 報を行頭から報ずる。

2

CCCC 群—地点略号

個々の本文の通報地点は ICAO の国際4文字地点略号により報ずる (付録 地点略号表参照)。

3

YYGGggZ 群—観測日時

3.1

観測日時の日付及び時分 (UTC) の次にスペースを置かずに指示符 **Z** を付す。

4

AUTO

4.1

AUTO を風の群の前に報ずる。

5

dddffGf_mf_m**KT** d_nd_nd_nVd_xd_xd_x 群—風

5.1

定時飛行場実況気象通報式の風の通報に係る規則により報ずる。ただし、風が欠測の場合は /////**KT** と報ずる。

6

VVVV 群—視程

6.1

定時飛行場実況気象通報式の視程の通報に係る規則により、観測装置で得られた視程の値を報ずる。ただし、視程が欠測、又は視程を観測しない場合は /////**V** と報ずる。

7

RD_RDR/V_RV_RV_RV_RVRi	}	群－滑走路視距離 (RVR)
又は		
RD_RDR/V_RV_RV_RV_RV_RV_RV_RV_RVRi		

7.1

定時飛行場実況気象通報式の滑走路視距離の通報に係る規則により報ずる。

8

w'w' 群－現在天気 (略語)

8.1

定時飛行場実況気象通報式の現在天気の通報に係る規則により、観測装置で得られた天気現象を報ずる。ただし、報ずる天気現象は「雨 (RA)」又は「雪 (SN)」のいずれか1つの現象に限ることとし、これらの天気現象に該当しない場合には省略する。また、強度・周辺現象及び特性は付加しない。また、「雨 (RA)」は天気略語表の「霧雨 (DZ)」の場合を、「雪 (SN)」は同じく「氷あられ/雪あられ (GS)」及び「みぞれ (RASN 又は SNRA)」の場合を含む。現在天気が欠測、又は現在天気を観測しない場合は//と報ずる。

9

N_sN_sN_sh_sh_sh_s///	}	群－雲
又は		
NCD		

9.1

定時飛行場実況気象通報式の雲の通報に係る規則により、観測装置で識別した雲層 (雲塊) の雲量及び雲底の高さを報ずる。ただし、次に示す場合はこの限りではない。

- (1) 雲が検知されない場合は、**NCD** (no cloud) と報ずる。
- (2) 個々の雲層 (雲塊) の雲量を決定する場合は、下層の雲層に隠された部分は雲層があるものと見なして推定する。
- (3) 雲の群はいくつもの雲層又雲塊を識別した場合は繰り返して3群まで報ずる。また、重要な対流雲は識別せず、付加群は報じない。
- (4) 雲底高度が不明又は欠測の場合は////////と、雲量が欠測の場合は//h_sh_sh_s///と報ずる。
- (5) 雲底高度を観測しない場合は////////と、雲層 (雲塊) を識別できないが雲底の高さのみ得られている場合は//h_sh_sh_s///として1群のみ報ずる。

10

T'T'/T_dT_d 群－気温/露点温度

10.1

定時飛行場実況気象通報式の気温/露点温度の通報に係る規則により報ずる。

11

QPHPHPHPH 群－アルティメーター・セッティング

11.1

定時飛行場実況気象通報式のアルティメーター・セッティングの通報に係る規則により報ずる。

12

RMK

12.1

RMK は、**RIRRR** 群の前に報じ、記事の群が続くことを示す。

13

AP_HP_HP_HP_H 群—アルティメーター・セッティング [QNH(inHg)]

13.1

定時飛行場実況気象通報式のアルティメーター・セッティング [QNH(inHg)] の通報に係る規則により報ずる。

14

RIRRR 群—降雨強度

14.1

降雨強度は、指示文字 **RI** を前置し、続けて 1mm/h の 100 位、10 位及び 1 位を報ずる。

14.2

降雨強度が欠測の場合は **RI///** と報ずる。

15

SDSSS/S_dS_dS_d 群—積雪

15.1

積雪の深さ及び 1 時間前の積雪の深さとの差 **SSS/S_dS_dS_d**

15.2

積雪の深さ及び 1 時間前の積雪の深さとの差は、指示文字 **SD** を前置し、それぞれ 1cm の 100 位、10 位及び 1 位を報ずる。

15.3

積雪の深さ又は 1 時間前の積雪の深さとの差が欠測の場合、それぞれ数値に代えて///を報ずる。また、積雪を観測しない場合はこれを報じない。